

◆ 年 譜 ◆

(昭和 24 年度～平成 11 年度)

昭和 24 年 (1949)

- 5.11 生産技術研究所設立準備のため生研運営機構小委員会
が置かれ第 1 回委員会開催
- 5.31 国立学校設置法により生産技術研究所が設置された
- 5.31 瀬藤象二教授初代所長となる (～26.3.31)
- 7. 6 「生産研究」編集委員第 1 回
- 9. 2 生研運営機構中央工作合同委員会第 1 回
- 9.22 生産技術研究所勤務発明暫定規程施行さる
- 10. 1 「生産研究」第 1 号が発行された
- 11.12 生産技術研究所の開所式と開所披露を開催した
委託研究手続が制定された

昭和 25 年 (1950)

- 3.11 「東京大学生産技術研究所受託規程」制定さる
- 3.28 第二工学部第 7 回卒業式挙行
- 4.26 理工研生研連絡会議第 1 回
- 5.25 「生産報告」第 1 号が発行された
- 9.21 中間試験審議委員会第 1 回 (昭和 26 年度より特別研究
審議委員会に改む)

昭和 26 年 (1951)

- 2.20 東大評議会で工学部分校設置規則を制定した
- 3.28 第 8 回卒業式 (第二工学部として最終回) が挙行され
た
- 3.28 第二工学部閉学式が挙行された
- 4. 1 兼重寛九郎教授所長となる。(第 2 代, ～29.3.31)
- 4. 1 工学部分校の開所式が行われた
- 4. 1 写真委員会設置
- 4. 1 輪講会世話人会設置

昭和 27 年 (1952)

- 11.24 財団法人生産技術研究奨励会設置さる (28.12.25, 文部
大臣より財団法人認可)

昭和 28 年 (1953)

- 4. 1 東京大学における新制大学院教育開始
- 12. “航空電子工学および超音速航空工学連合研究班” 結
成され, ロケットの協同研究開始さる

昭和 29 年 (1954)

- 3.27 工学部分校の卒業式が行われた
- 3.31 星合正治教授所長となる (第 3 代, ～32.3.31)
- 4.30 将来計画委員会第 1 回, 33.4 月より技術管理委員会と
合併今日に至る
- 4. 研究生制度設置
- 5.31 生産技術研究所開所 5 周年記念行事挙行

- 6. 1 以後開所記念行事を行うようになった

昭和 30 年 (1955)

- 2.17 整備委員会第 1 回
- 4.14 ペンシル・ロケット (全長 23 cm, 重さ 230 g) の公開
飛翔実験を実施
- 8. 秋田県由利郡道川海岸にロケット実験場設置
- 8. 6 ベビーロケット (全長 1,340 cm) 飛ぶ

昭和 31 年 (1956)

- 4. 1 生産技術研究所留学研究員採用内規適用さる
- 9.24 カップ・ロケット飛翔打上実験

昭和 32 年 (1957)

- 1.15 生研新館第 2 期工事竣工
- 3. 西千葉に RC の新館が完成した
- 4. 1 谷安正教授所長になる (第 4 代, ～33.3.31)
- 4 月～5 月 2 段式カップ・ロケット飛翔実験施行
- 7.29 ロケット観測協力会成立す
- 7. 第 3 回国際地球観測年始まる (～33.12). カップ 6 型
ロケット (長さ 3 m 余. 重さ 390 kg, 2 段式) をもって,
観測に成功した
- 8. 1 1 トン試験高炉実験開始
- 9.20 カップ IV 型ロケット実験飛翔を実施 (～9.22)
- 10. 1 生産研究編集委員会を出版委員会に改組
- 11.20 教授会において麻布移転要請を決議した
- 11. 麻布竜土町旧歩兵第 3 連隊跡の使用希望有無の照会が
文部省よりあった

昭和 33 年 (1958)

- 2.10 K 122 S と π ロケット飛翔実験を行なう
- 3.31 福田武雄教授所長になる (第 5 代, ～36.3.30)
- 4. 1 営繕委員会発足す
- 4. 生産技術研究奨励会の育英奨学制度制定
- 5. 2 東京大学受託研究員規程適用さる
- 6.18 営繕委員会規程実施
- 6.18 常務委員会規程実施
- 6.18 「生産技術研究所報告」発行内規実施さる
- 6. 生産商議会 (25.4.26, 第 1 回) は 30.6.11 に 5 回目を開
催した後休止していたが解散した
- 6. 大蔵省管財局長から総長宛十条兵器廠跡約 8 万坪の使
用が提案された
- 10. 1 出版委員会規程実施

昭和 34 年 (1959)

- 3. 9 関東地方国有財産審議会においてハーデイバラックス

- 跡地一部を生研と物性研に割当てることが決定された
- 3.16 教授総会にて麻布移転が決議された
4. 理工研生研連絡会議を航研生研連絡会議に改む
- 5.30 開所10周年の記念行事開催
5. 移転委員会(委員長福田武雄所長)が設置された
- 6.1 東京大学生産技術研究所「10周年誌」(生産研究, Vol.11, No.6)が発行された
- 7.10 千葉実験場計画を東大から文部省へ正式に申し入れた
- 8.1 ロケット・カップ6型特集号発行(生産研究)
- 11.1 精密圧延機特集号発行(生産研究)

昭和35年(1960)

放射線同位元素工学部門設置さる(35年度)

- 3.1 ロケット・ロクーン第1号特集号発行(生産研究)
- 10.1 製鉄技術特集号発行(生産研究)
- 12.1 ロケット特集号—5年のあゆみ—発行(生産研究)

昭和36年(1961)

超高層観測機器学, 超高層電子工学部門設置さる。(前者は39年度, 後者は40年度に宇宙航研へ移管された)

- 2.1 東京移転開始(第3部, 第5部)
- 3.31 藤高周平教授所長になる(第6代, ~39.3.30)
4. 発明特許制度審議会発足す
- 5.1 自動車の研究特集号発行(生産研究)
- 6.7 生産技術研究所放射性同位元素委員会規程実施
- 10.1 ロケット・カップ8, 9型特集号発行(生産研究)
- 12.1 精密圧延機特集号発行。(生産研究)

昭和37年(1962)

マイクロ波工学, 電子演算工学の2部門設置さる(37年度)

1. 第1部・第2部移転完了す
- 2.1 ロケット特集号発行(生産研究)
- 2.2 鹿児島内之浦に宇宙空間観測所起工式挙行
2. 事務部移転完了す
2. 正式移転(37年3月, 移転一応完了)
3. 第4部移転完了した
- 3.31 生産技術研究所試験溶鋸炉委員会規程実施
- 4.1 東京移転完了
- 4.1 生産技術研究所研究担当・研究員取扱内規適用さる
4. 千葉実験場管理運営委員会発足す。
- 8.1 光工学特集号発行(生産研究)
- 11.8 東京移転披露および研究所公開(~11.10)

昭和38年(1963)

情報処理工学部門設置さる(38年度)

- 3.6 講習会委員会発足す
4. 試験溶鋸炉委員会発足す
4. 放射性同位元素委員会発足す
4. 電子計算機委員会発足す
- 7.1 カップ8L・8・9L・9M型特集号発行(生産研究)

- 7.13 生産技術研究所研究生規程施行さる。ただし適用は4月1日にさかのぼる
- 11.6 第1回生研講習会(構造力学の諸問題)開催。(~11.8)
- 12.7 航空写真による地すべり調査に関するシンポジウム開催(日本写真測量学会に協力)
- 12.9 KSC(鹿児島宇宙空間観測所)開所式挙行

昭和39年(1964)

- 1.1 講習会委員会規程施行
- 3.27 ソ連科学アカデミー学術視察団3名来所(研究室見学)
- 3.31 岡本舜三教授所長となる(第7代, ~42.3.30)
- 4.1 東京大学宇宙航空研究所設置さる。(生研のロケット部門がこれに移った)
- 6.16 新潟地震の被害調査を行なう
- 6.24 第2回生研講習会(加工における諸問題)開催
- 7.11 ラムダ3型1号機高度1,000kmに達し,各種の観測に成功した
- 10.1 新潟震害特集号発行(生産研究)
- 11.1 ラムダ・ロケット特集号(生産研究)
- 12.22 千葉実験所正門竣工式挙行

昭和40年(1965)

生産施設防災工学部門設置さる(40年度)

- 1.6 東京大学生産技術研究所将来計画委員会規程施行
- 1.13 将来計画委員会第1回委員会(42.3.22まで37回)
- 4.22 中国物理儀器代表団8名来所, 地震および耐震に関する研究連絡および見学
- 4.28 試作工場竣工式挙行
4. 宇宙航空研究所にロケット研究部門が移った
4. 東京大学大学院研究科の分類変更され, 生研の大部分の教授・助教授は工学系研究科に, 一部は理学系研究科に属することとなる
- 5.14 国際地震工学研修生15名来所
- 6.7 ソ連半導体視察団来所
- 6.11 オランダ建築産業視察団来所
- 6.16 財団法人生産技術研究奨励会育英奨学生取扱規程実施さる
- 6.17 皇太子殿下御来所。研究施設・研究状況を見学される
- 6.23 第3回生研講習会(近代材料の諸問題)開催(~6.25)
- 7.5 中華人民共和国ダム・電力代表団(団長黄文熙ほか団員)来所見学
- 7.10 地震災害と航空写真のシンポジウム開催
- 7.22 津波高潮実験施設運営委員会第1回
- 10.28 ハウスベリー伯爵(英)らOECD審査員団来所
- 11.1 防災・公害特集号発行(生産研究)

昭和41年(1966)

動的材料強弱学部門設置さる(41年度)

- 耐震構造の研究に寄与するため大型振動台が設置された(41年度)
- 1.19 「生産技術研究所将来計画委員会報告」が教授総会で承認された

- 2. 9 ブルガリア建設国家委員会委員長ブランコフ教授ら来所
- 2.17 西独フリーデルチアナ工科大学カール教授ほか一行来所見学
- 2.18 スイス政府派遣エレクトロニクス調査団来所
- 3. 8 「生産技術研究所将来計画委員会報告」東京大学総合計画委員会に報告された承さる
- 5.16 ソ連化学工業使節団来所
- 5.20 日米工学教育会議参加の米国側委員ら来所
- 6.22 第4回生研講習会(スイッチング回路)開催(～6.25)
- 7.27 ニュージーランド工業大学学長ケイヤー氏来所
- 9.27 佐藤総理大臣、文部大臣その他を帯同来所。研究施設・研究状況を視察
- 10.14 西独鉄鋼関係技術者4名来所
- 10.27 日本地震工学シンポジウムの参加の外人研究者ら来所
- 11. 9 人事院公災実地調査のため職員局厚生課長補佐ら来所

昭和42年(1967)

耐震機械構造学部門設置さる(42年度)
FACOM-270-30を設置し on-line の情報処理に関する研究を開始した

- 3.31 菊池真一教授所長となる(第8代、～43.11.14)
- 4.15 ニュージーランド農相兼科学技術長官ら同国大使と来所見学
- 5.17 東大聴講生として滞日中のネパール国皇太子殿下御来所、この日より4日間にわたり村松助教授から日本の近代化に関する特別講義を受けられる
- 5.18 所史調査委員会設置さる(～44.3.12)
- 6. 1 千葉実験場は千葉実験所と名称変更(文部省令第11号)
- 6.28 第5回生研講習会(環境開発の技法)開催(～6.30)
- 7. 7 所史調査委員会第1回開催(～19回、44.2.14)
- 7.19 所史調査委員会規程承認さる
- 7.19 東京大学生産技術研究所千葉実験所規程施行
- 10.27 衆議院専門調査員ら来所
- 12. 4 千葉実験所開所式挙行

昭和43年(1968)

- 1. 1 「自動車と自動車交通」特集号発行(生産研究)
- 2. 1 「公害対策」特集号発行(生産研究)
- 3.11 ミュンヘン工科大学高電圧研究所所長ハンス・プリミンツ教授来所
- 3.11 医学部17名の学生処分を発表、東大紛争にわかに拡大する
- 3.28 学生の妨害によって東大の卒業式は中止
- 4. 1 生研事務部に部課制がしかれた
- 4.17 生産技術研究所電子計算機委員会規程実施
- 6.15 全学共斗会議系学生ら安田講堂占拠
- 6.17 警官隊を導入して安田講堂の占拠を排除(7.2再占拠)
- 6.26 第6回生研講習会(耐震・防震の考え方)開催(～6.28)
- 8.10 大河内総長、いわゆる「8.10告知」を発表
- 11. 1 大河内総長「学生諸君へ」なる見解を発表して退陣
- 11. 4 加藤総長代行ら新執行部発足

- 11. 9 ISO/TC 98/W G-1「地震荷重」国際会議参加者来所
- 11.13 ソ連ダム視察団ハムラエフ氏ら来所
- 11.14 一色貞文教授所長となる(第9代、～46.11.14)
- 11.16 第二工学部25周年記念会を生研講堂で開催した
- 11.16 「東京大学第二工学部史」が発行された
- 12.17 ソ連科学アカデミー地球物理研究所副所長ボルシェビッチ教授ら来所
- 12.29 東大は来春の入試は中止せざるをえないがなお努力を続けると公表

昭和44年(1969)

- 1. 7 東大に「大学改革準備調査会」設置さる
- 1.10 七学部の学生代表団と確認書に署名
- 2.10 「改革調査委員会」を設置することが教授総会で決定された
- 3.28 千葉実験所に保存書庫を設置
- 4. 1 東京大学総長事務取扱加藤一郎教授、総長に就任
- 4.16 電子計算機室が設置さる
- 4.18 大学問題所内第1回シンポジウム開催
- 4.24 大学問題所内第2回シンポジウム開催
- 5. 1 東京大学生産技術研究所『20年誌』発行
- 5.22 第2回日ソ製鋼物理化学シンポジウム、ソ連使節団来所(団長 Samarin Aleksandre Mikhailovich 氏、ほか9名)
- 5.29 生産技術研究奨励会総会・理事会・評議員会開催
- 5.29 研究所公開、研究室を公開して講演と映画の会を行なった(～5.30)
- 5.30 木内四郎科学技術庁長官来所
- 6.16 生研ニュース第1号発行
- 6.25 第7回生研講習会開催、テーマは「イメージサイエンスとイメージテクノロジー」(～6.27)
- 7.30 大学問題所内第3回シンポジウム開催
- 8. 1 大学問題所内第4回シンポジウム開催
- 8.13 昭和44年会計実地検査実施
- 10. 1 三島新吉事務部長就任
- 10. 3 生研運動会(主催・弥生会)を東京大学検見川グラウンドにおいて開催
- 11.20 生産技術研究奨励会総会・理事会・評議員会開催
- 11.21 岡谷市校長会会員10名来所、見学
- 12. 4 ソ連水工学研究所 Savnoff 氏ほか3名来所
- 12. 5 中華民国政府 Ying-tsu Mao 氏ほか10名来所

昭和45年(1970)

- 1. 9 海外技術研修センター研修生13名来所、見学
- 2.20 地下鉄千代田9号線新設工事のため敷地内の音響実験室を移転することになり、移転予定地の建物とりこわし工事を開始
- 3.11 予算委員会解散
- 3.24 10人の会('68.12.11設置)解散
- 3.25 第1部 岡本舜三教授退官記念講演が行われた、講演題目は「耐震工学30年の歩み」
- 4. 8 大学問題所内第5回シンポジウム開催
- 5.13 大学問題所内第6回シンポジウム開催
- 5.18 中華民国科学技術視察団 閩振興団長ほか6名来所
- 5.22 大学問題所内第7回シンポジウム開催

- 5.28 研究所公開, 研究室公開および講演, 映画会開催 (~5.29)
- 5.28 財団法人生産技術研究奨励会, 理事会・評議員会合同会議
- 6.24 第8回生研講習会開催 (第一次), テーマは, 「マトリックス法の応用」 (~6.26)
- 7. 1 「事中務機構改善委員会」設置さる
- 7. 8 第8回生研講習会開催 (第二次), テーマは, 「マトリックス法の応用」 (~7.10)
- 7.15 「将来計画委員会」設置さる
- 7.16 麻布庁舎における冷暖房装置の運転開始
- 8.12 昭和45年度会計実地検査実施
- 9.30 音響実験室竣工 (地下鉄工事に伴う建替え)
- 9.30 共同利用研究室および車庫竣工
- 10.27 生研運動会 (主催・弥生会) を東大検見川グラウンドにおいて開催
- 10.30 希用図書約26,000冊を麻布から千葉実験所の保存書庫に搬入完了
- 11.11 試作工場特別委員会設置 (~46.3.29)
- 11.30 財団法人生産技術研究奨励会, 理事会・評議員会合同会議
- 12.13 岡宗次郎名誉教授逝去

昭和46年 (1971)

- 1. 1 東京大学受託研究取扱規則が制定され, 本所受託規定が廃止
- 1.30 日本歴史地理学会会員20名来所見学
- 3.17 臨時事業研究費の示達があり「臨時事業委員会」設置さる
- 3.19 計測記録測定室竣工 (千葉実験所)
- 3.20 旧第一海軍燃料廠 (大船) より受け入れた図書8,148冊の整理を完了 (42年度より)
- 3.24 退官記念特別講演会が開催された
第4部江上一郎教授, 題目「マグネシウムと私」
第5部星埜和教授, 題目「道路を中心とする技術と交通問題」
- 4. 1 臨時事業費第1次申請「都市災害・公害の防除に関する研究 (46~48年度) 認められる
- 4. 1 試作工場専任の工場長退官, 当分の間教官が併任することとなった
- 4.19 インドネシア国立科学研究所 スマントリイ次長ほか2名来所見学
- 4.23 大蔵省 原主計官来所見学懇談
- 5.13 昭和工事 (株) 幹部社員4名来所見学
- 5.27 研究所公開, 研究室公開および講演, 映画会開催 (~5.28)
- 5.27 財団法人生産技術研究奨励会, 理事会・評議員会合同会議
- 6.23 第9回生研講習会開催 テーマ「工学における新しい化学計測」(公害対策の基礎知識として) (~6.25)
- 7.21 昭和46年度会計実地検査実施 (~7.22)
- 8.21 渡辺要名誉教授逝去
- 10.28 第1回臨時事業「都市における災害・公害の防除に関する研究」研究発表会 テーマ「都市機能の定義と都市災害防除の理念」, 「交通信号制御手法の問題点と今

後の研究課題」

- 11. 2 第2回臨時事業研究発表会 テーマ「地下埋設管の地震時挙動」, 「沈埋トンネルの解析」
- 11.14 鈴木弘教授所長となる (第10代, ~49.11.14)
- 11.16 生研運動会 (主催・弥生会) を中庭において開催
- 11.16 韓国, 京城大学工学部長ほか4名来所見学懇談
- 11.17 「改革委員会 (教官)」設置さる
- 11.25 第3回臨時事業研究発表会 テーマ「都市廃棄物処理対策開発研究の概要」, 「都市廃棄物処理の実態調査報告」
- 12. 7 財団法人生産技術研究奨励会 理事会・評議員会合同会議
- 12.17 第4回臨時事業研究発表会 テーマ「建築物の耐震設計とその問題点」, 「新設の動的破壊試験装置について」

昭和47年 (1972)

- 1. 7 財団法人生産技術研究奨励会臨時理事会
- 1.25 第5回臨時事業研究発表会 テーマ「ハイブリッド・シミュレーションによる交通流の解析」, 「新設の交通流シミュレータとその臨時事業における課題」
- 2. 2 「新電子計算機導入委員会」設置さる
- 2.24 第6回臨時事業研究発表会 テーマ「都市廃棄物処理の現状調査ならびに研究」
- 3.10 カナダ科学技術使節団 (第5グループの3名) 来所見学懇談
- 3.21 後藤信行助教授逝去
- 3.22 退官記念特別講演会が開催された
第3部 森脇義雄教授 題目「二工・生研の30年を振り返りみて」
第3部 沢井善三郎教授 題目「制御システムの問題点」
- 3.24 第7回臨時事業研究発表会 テーマ「免震構造は可能か」
- 4. 1 田中源二事務部長就任
- 4.25 第8回臨時事業研究発表会 テーマ「交通騒音について」
- 5.10 大蔵省 青木主計官来所視察
- 5.11 昭和47年度会計実地検査実施 (~5.12)
- 5.26 第9回臨時事業研究発表会 テーマ「高分子化合物に対する光の作用」
- 5.30 研究所公開, 研究室公開および講演, 映画会開催 (~5.31)
- 5.30 財団法人生産技術研究奨励会, 理事会・評議員会合同会議
- 6.23 第10回臨時事業研究発表会 テーマ「埋設管の地震時挙動」
- 6.28 第10回生研講習会開催 テーマ「画像情報の処理と伝達」 (~6.30)
- 7.20 第11回臨時事業研究発表会 テーマ「振動公害について」
- 7.28 住友金属工業 (株) 社員60名来所見学
- 9. 6 財形貯蓄制度が適用される
- 9. 6 東京都震災予防条例の規定に基づき, 麻布庁舎敷地が避難場所に指定される
- 9. 9 朝鮮金作工業大学講座長ほか10名来所見学懇談

- 9.14 第12回臨時事業研究発表会 テーマ「プラスチック無機充填材系材料の燃焼特性」
- 10. 3 生研運動会 (主催・弥生会) 検見川総合運動場で開催
- 10.18 (株)日本紙パルプ研究所企画委員ほか15名来所見学
- 10.20 地下鉄千代田線 (乃木坂駅) 開通する
- 10.27 第13回臨時事業研究発表会 テーマ「繰返し載荷を受ける鋼構造の部材」
- 11.16 第14回臨時事業研究発表会 テーマ「都市道路網における交通流配分のアルゴリズム」
- 11.30 財団法人生産技術研究奨励会 理事会・評議員会合同会議
- 12.15 第15回臨時事業研究発表会 テーマ「プラスチックの熱分解による軽質油の回収」

昭和48年 (1973)

- 1.26 第16回臨時事業研究発表会 テーマ「鉄筋コンクリート部材の動的破壊試験」
- 2. 1 電子計算機室に新機種 of 230-55 機が設置された
- 2.22 第17回臨時事業研究発表会 テーマ「汚損条件下における電力系統の絶縁信依度」
- 3.23 第18回臨時事業研究発表会 テーマ「微分パルスポラログラフィによる微量重金属の分析」
- 4. 1 東京大学総長に林健太郎教授就任
- 4. 1 計測技術開発センター設置さる
- 4. 5 「社会・共産・公明・民社」の各党国会議員来訪
- 4.20 第19回臨時事業研究発表会 テーマ「耐震ダンパーの実験結果と制震機構の可能性」
- 5.11 昭和48年度会計実地調査実施
- 5.25 第20回臨時事業研究発表会 テーマ「交通信号制御の改善効果」
- 5.29 研究所公開, 研究室公開および講演・映画会開催 (~5.30)
- 6.27 第11回生研講習会開催 テーマ「制御技術の基礎と応用」(~6.29)
- 6.29 第21回臨時事業研究発表会 テーマ「アメリカにおける公害とその対策の現況」
- 7.27 第22回臨時事業研究発表会 テーマ「沈埋トンネルの耐震性」
- 9.26 生研運動会 (主催・弥生会) 検見川総合運動場で開催
- 9.28 韓国重化学工業分野教授団19名来所見学
- 10. 4 中国電子デバイス視察団9名来所見学
- 10.24 第12回生研講習会 テーマ「第2回マトリクス法の応用」(~10.26)
- 10.26 第23回臨時事業研究発表会 テーマ「交通制御方式の検討を目的とした自動車交通流のシミュレーション」
- 11. 3 瀬藤象二名誉教授 文化勲章受賞
- 11. 9 英国ロンドン王立協会訪日代表団2名来所見学
- 11.12 千葉県機械金属試験場職員14名来所見学
- 11.21 瀬藤象二名誉教授の文化勲章受賞祝賀パーティーを葵会館で開催
- 11.30 第24回臨時事業研究発表会 テーマ「廃水の高度処理に関する調査ならびに研究」
- 12.21 第25回臨時事業研究発表会 テーマ「配管系の強度とその周辺の研究」

昭和49年 (1974)

- 1.25 第26回臨時事業研究発表会 テーマ「交通騒音について」
- 2. 2 訪日ソ連イオン交換樹脂代表団4名来所見学
- 2.28 第27回臨時事業研究発表会 テーマ「プラスチックの接触分解の研究」
- 3.27 退官記念特別講演会が開催された. 第1部 一色貞文教授 題目「X線応力測定とX線透過試験」
- 4. 1 臨時事業費第2次申請「災害・公害からの都市機能の防護とその最適化に関する研究」認められる (49~51年度). 予算総額210,202千円
- 4. 1 麻布庁舎における宿日直制度 (守衛を除く) が廃止
- 5.21 東京大学「創立百年記念事業委員会」・「百年史編集委員会」設置.
- 5.28 研究所公開, 研究室公開および講演・映画・写真展「生研25年の歩み」等開催 (~5.29)
- 7. 8 本年度より生研セミナー開催. コース1「人間のかかわる機械系の制御と安全」ほか5コースまで (~8.21)
- 8.28 生産工学国際会議来日教授団9名来所見学
- 9.25 生研運動会 (主催・弥生会) 検見川運動場で開催
- 10.30 第13回生研講習会開催「地震工学の最近の発展」(~10.31)
- 11.14 武藤義一教授所長となる (第11代, ~52.11.14)
- 12. 2 フランス国立科学研究センターフィリップ氏来所見学
- 12.11 ソビエト科学アカデミー シャフタフチンスキー氏来所見学.

昭和50年 (1975)

- 2. 8 谷安正名誉教授逝去
- 3.26 退官記念特別講演会が開催された. 第4部 野崎弘教授 題目「工業物理化学とともに35年」
- 3.31 構造物動的破壊実験棟竣工 (千葉実験所)
- 4. 1 複合材料技術センター設置
- 4. 1 中国海洋学会海水淡水化技術交流団11名来所見学
- 4.23 ポーランド・グダノスク工科大学教授のニエピアドムスキー氏本所で特別講演会を行なう
- 5.16 千葉実験所構造物動的破壊実験棟落成式挙行
- 5.29 研究所公開, 研究室公開および講演・映画等開催 (~5.30)
- 5.30 1974~1975年度国際地震工学研修員11名来所見学
- 7. 1 生研セミナー開催. コース6-1「非線形問題解析ワークショップ」ほか14-2コースまで (~1.23)
- 9.23 生研運動会 (主催・弥生会) 検見川運動場で開催

昭和51年 (1976)

- 1.27 第14回生研講習会開催「最近の圧延技術と圧延理論」(~1.28)
- 3.17 退官記念特別講演会が開催された. 第2部 平尾収教授 演題「災害・公害と安全について」
- 3.24 退官記念特別講演会が開催された. 第1部 大井光四郎教授 演題「材料力学の大きな体系における小さな仕事」, 第2部 鈴木弘教授 演題「塑性加工とともに40年」. 第4部 山辺武郎教授 演題「イオン交換とその関連分離法に関する研究」

- 5.27 研究所公開, 研究室公開および講演・映画等開催 (~ 5.28)
- 5.28 文部省国際学術局学術課長・研究助成課長来訪
- 6.2.3 中国耐震技術考察団来訪
- 6.28 生研セミナー開催, コース15「リモートセンシングデータの処理と応用」ほか26コースまで (~ 10.29)
- 7.22 韓国特別視察団来訪
- 9.21 生研運動会(主催・弥生会) 船橋体育センターで開催
- 10.17 海外有力研究機関へ本所視察団が出発, 事務部長同(10.17~11.8)
- 10.20 「複合材料研究連絡委員会規程」制定
- 10.22 中国電子学会光電技術視察団来訪

昭和52年(1977)

- 1. 8 国家公務員に対する週休二日制の試行が本所において実施さる
- 1.18 第15回生研講習会開催「環境問題におけるコンピュータシミュレーションと制御技術」(~ 1.20)
- 2.15 第16回生研講習会開催「活性炭に関する最近の技術動向」(~ 2.17)
- 3.16 退官記念特別講演会, 第2部 水町長生教授「ラジアルタービンの非定常流特性について」, 第4部 加藤正夫教授「アイトープと冶金学」
- 3.23 退官記念特別講演会, 第4部 中村亦夫教授「炭水化物に関する研究」, 第5部 井口昌平教授「日本の河川工学の近代化の一面」, 第5部 勝田高司教授「建築環境研究あれこれ」
- 3.29 複合材料強度実験室竣工
- 4. 1 東京大学総長に向坊隆教授就任
- 4. 1 多次元画像情報処理センター設置
- 4.12 東京大学創立百年記念式挙行(神田学士会館に於いて)
- 5.26 研究所公開, 研究室公開および講演・映画等開催 (~ 5.27)
- 7. 1 河合丈夫事務部長就任
- 7. 4 生研セミナー開催, コース27「リモートセンシングデータのコンピュータ処理と応用」ほか36コースまで (~ 1.27)
- 7.15 ソ連科学視察団来訪
- 9.13 複合材料研究会第1回開催(54年2月14日迄に11回開催)
- 9.21 麻布庁舎大型改修工事の予算要求が認められた
- 9.22 生研運動会(主催・弥生会) 船橋体育センターで開催
- 10.20 瀬藤象二名誉教授(初代第二工学部長, 初代生産技術研究所長)逝去
- 11.14 田中尚教授所長となる(第12代)
- 12.12 庁舎外壁改修工事第1期開始(~ 53.3.31)
- 12.24 共通1次学力試験試行テストが実施された

昭和53年(1978)

- 2. 1 第17回生研講習会開催「振動騒音の基本的解析法と防止対策」(~ 2.3)
- 2.24 韓国科学財団学術事情調査団来訪
- 3.22 退官記念特別講演会, 第2部 亙理厚教授「機械力学回顧」

- 4. 1 特別事業費として「省資源のための新しい生産技術の開発」に対し予算54,255千円が給付された。
- 7.14 試作工場安全作業講習会実施 (~ 8.30)
- 7.17 生研セミナー開催, コース37「高速液体クロマトグラフィの理論と応用」ほか45コースまで (~ 1.24)
- 7.29 国家公務員に対する週休2日制の再試行が本所において実施さる
- 10. 3 中国溶接学会視察団来訪
- 10.13 中国非破壊検査視察団来訪
- 10.25 韓国蔚山工科大学長来訪
- 11.10 庁舎外壁改修工事第2期開始(~ 54.3.31完了)
- 11.18 中国有機構造・分析科学会代表団来訪
- 11.27 中国大学院研究体制視察団来訪
- 12.27 中国粉末冶金学会視察団来訪

昭和54年(1978)

- 1.13 共通一次学力試験が実施される (~ 1.14)
- 1.20 多次元画像情報処理センター棟着工
- 2.10 池辺陽教授逝去
- 2.28 試作工場共同利用工作室拡張工事完了
- 3. 7 第18回生研講習会開催. テーマ: 画像処理とその応用—多次元画像情報処理センター設置記念— (~ 3.9)
- 5.22 千葉実験所公開: 研究および研究施設
- 5.28 第2回日ソ複合材料シンポジウム, ソ連研究者来訪
- 5.31 研究所公開: 研究室公開および講演・映画等開催(本年は当研究所が創立30周年にあたり, 例年の研究所公開のほか, 千葉実験所も公開) (~ 6.1)
- 7. 2 生研セミナー開催・コース46-53 (~ 55.1.31)
- 7.12 ESCAP加盟諸国の研修者所内施設見学
- 9.15 運動会(主催・弥生会) 船橋体育センターで開催
- 9.26 中国地震視察団来訪
- 10.22 中国女性科学者代表団訪問
- 12.12 第19回生研講習会開催 テーマ: 複合材料—東京大学生産技術研究所における研究を中心として— (~ 12.14)

昭和55年(1980)

- 5.16 生研セミナー開催・コース54-65 (~ 56.2.6) 「人工衛星による広域多重情報収集解析に関する研究」の開始
- 5.21 研究所公開: 研究室公開および講演・映画等開催 (~ 5.22)
- 9.15 運動会(主催・弥生会) 船橋体育センターで開催
- 11.14 石原智男教授13代所長に就任

昭和56年(1981)

- 1.26 第20回生研講習会開催 テーマ: 耐震工学の最近の考え方 (~ 1.29)
- 2.18 輪講会500回講演が行われた
- 4. 1 東京大学総長に平野龍一教授が就任
- 4.13 「働く婦人の問題座談会」が鈴木基之助助教授座長のもと14名の参加で開催
- 4.14 「自然地震による地盤・構造物系の応答および破壊機

- 構に関する研究」開始
- 4.27 所長より事務機構改善委員会へ諮問事項を付記（事務の円滑化，定員削減）
- 5.21 研究所公開：研究室公開および講演・映画等開催，平野龍一東大総長来所（～5.22）
- 7.9 生研セミナー開催・コース66-76（～57.2.5）
- 9.22 総理府参事官柴田知子氏による講演「日本における男女平等」
- 10.28 運動会（主催・弥生会）生産技術研究所中庭で開催

昭和57年（1982）

- 1.26 第21回生研講習会開催 テーマ：多次元画像情報処理の進展（～1.28）
- 1.26 「半導体超薄膜の電子物質性とデバイス応用に関する研究」開始
- 2.22 江崎玲於奈博士来訪，研究室視察
- 3.31 東京大学生産技術研究所大型共同研究成果概要第1号の発行「多次元画像情報処理に関する研究」
- 4.1 片山泰二事務部長に就任
- 5.20 研究所公開：研究室公開および講演・映画等開催（～5.21）
- 7.1 生研セミナー開催・コース77-87（～58.2.3）
- 9.1 計算機システムは，FACOM M-180 II ADに更新（本年度より事務部に端末を新設）
- 9.14 運動会（主催・弥生会）生研中庭で開催
- 11.12 豊橋技術科学大学との第1回共同研究会開催（於：豊橋技術科学大学）

昭和58年（1983）

- 1.27 第22回生研講習会開催 テーマ：固体力学における非線形現象の数理解析（～1.28）
- 3.31 東京大学生産技術研究所大型共同研究成果概要第2号の発行「計測技術開発に関する研究」
- 6.8 豊橋技術科学大学との第2回共同研究会開催（於：生産技術研究所）
- 6.9 研究所公開：研究室公開および講演・映画等開催（～6.10）
- 6.28 東京大学民間等共同研究取扱暫定要領制定
- 7.15 生研セミナー開催・コース88-96（～59.1.27）
- 9.14 地震応答実験棟披露式典開催（於：千葉実験所）
- 9.20 東京大学生産技術研究所大型共同研究成果概要第4号の発行「試験高炉を用いた高炉プロセスに関する研究」
- 9.21 所長の諮問機関として“研究推進室”を設置
- 9.30 東京大学生産技術研究所大型共同研究成果概要第4号の発行「複合材料技術に関する研究」
- 9.30 運動会（主催・弥生会）生研中庭で開催
- 11.14 尾上守夫教授第14代所長に就任
- 12.1 第23回生研講習会開催 テーマ：材料機能の可能性—材料機能の原理的再検討から新素材まで，その可能性を探る—（～12.2）

昭和59年（1984）

- 1.18 第1回「生研国際シンポジウム」—画像処理とその応用—開催（～1.21）
- 3.31 多次元画像情報処理センターは，59年3月末設置期限7年を終えて廃止
- 4.1 研究顧問に江崎玲於奈博士就任
- 4.10 大型プロジェクト研究「ヘテロ電子材料の研究」開始
- 4.11 機能エレクトロニクス研究センターが設置
- 5.16 所長の諮問機関として“国際交流室”を設置
- 6.7 研究所公開：研究室公開および講演・映画等開催（～6.8）
- 7.23 生研セミナー開催・コース97-105（～60.1.31）
- 9.25 豊橋技術科学大学との第3回共同研究会開催（於：豊橋技術科学大学）
- 9.29 運動会（主催・弥生会）生研中庭で開催
- 10.1 光ケーブルによるデータハイウェイ完成

昭和60年（1985）

- 1.21 第24回生研講習会開催 テーマ：最近の表面加工技術（～1.22）
- 3.31 複合材料技術センターは10年の時限が到来して廃止
- 4.1 先端素材開発研究センターが設置
- 5月 将来計画委員会「生研の次の発展のために」の報告を作成
- 6.6 研究所公開：研究室公開および講演・映画等開催（～6.7）
- 7.15 生研セミナー開催・コース106-116（～61.1.30）
- 9.28 運動会（主催・弥生会）生研中庭で開催
- 10.29 豊橋技術科学大学との第4回共同研究会開催（於：生産技術研究所）
- 10.31 第25回生研講習会開催 テーマ：地震工学における観測・実験・数値シミュレーション（～11.1）
- 12.2 第2回生研国際シンポジウム「Interface Structure, Properties and Diffusion Bonding」が開催（～12.4）

昭和61年（1986）

- 2.7 「第1回生研NSTシンポジウム」が開催
- 3.31 東京大学生産技術研究所大型共同研究成果概要第5号の発行「耐震工学に関する研究」
- 4.1 増子昇教授第15代所長に就任
- 4.1 写真技術班を発展的に解消して，映像技術室が発足
- 4.4 プロジェクト研究「コンクリート構造物の劣化診断に関する研究」開始
- 4.5 客員部門「多次元数値情報処理工学」が新設
* 黒川兼行富士通研究所常務取締役厚木研究所所長が客員教授として本所に勤務
- 6.5 研究所公開：研究室公開および講演・映画等開催（～6.6）
- 6.19 生研セミナー開催・コース117-126（～62.2.6）
- 8.4 星合正治名誉教授（3代所長）逝去88歳
- 10.18 運動会（主催・弥生会）生研中庭で開催
- 10.27 第3回生研国際シンポジウム「新材料の非破壊評価ならびに監視応用とAE新技術」（～10.28）
- 10.29 豊橋技術科学大学との第5回共同研究会開催（於：豊橋技術科学大学）

- 11. 3 鈴木弘名誉教授(10代所長)文化功労者として顕彰
- 11.26 第26回生研講習会開催 テーマ:レーザと光エレクトロニクス(～11.28)
- 12. 4 スーパーコンピュータ(VP-100)設置

昭和62年(1987)

- 2. 2 第4回生研国際シンポジウム「マシビジョンとマシンインテリジェンスの産業応用に関する国際ワークショップ」「産業オートメーションシステムに関する国際ワークショップ」がIEEE The Industrial Electronics Societyとの共催で5日間にわたり開催(～2.6)
- 6. 4 研究所公開:研究室公開および講演・映画等開催(～6.5)
- 7. 9 中国大連工学院との学術交流協定調印
- 8.31 第5回生研国際シンポジウム「海洋工学の学問研究の将来ビジョン」(～9.1)
- 10. 1 研究顧問に猪瀬博学術情報センター所長が就任
- 10.14 生研セミナー開催・コース127-134(～63.3.9)
- 10.23 第1回生研公開講座開催「都市と空間を考えるイブニングセミナー」:毎週金曜日(～63.1.29)
- 10.30 豊橋技術科学大学,長岡技術科学大学および生研間における研究会議開催(於:生研)
- 12.25 ERSグループは'87.12.17千葉県東方沖の地震における千葉実験所の耐震工学研究設備の地震観測結果をNHKを始めとするマスコミに公表

昭和63年(1988)

- 1.18 第27回生研講習会開催 テーマ:超高真空が開く先端技術(～1.19)
- 5.19 第28回生研講習会開催 テーマ:数値乱流工学(～5.20)
- 6. 2 研究所公開・研究室公開および講演・映画等開催
- 6. 2 ERSグループによる“Technical Tour to Chiba Experiment Station”が開催
- 10.19 記念行事委員会および講習会委員会を整理統合し,新たに「研究交流委員会」発足
- 10.21 第2回生研公開講座開催「都市を支える」:毎週金曜日(～12.16)
- 10.26 生研セミナー開催・コース135-143(～64.2.10)
- 10.27 弥生会主催によるレクレーション大会開催
- 12. 1 第29回生研講習会開催 テーマ:21世紀に向けて新しい都市を考える(～12.2)

平成元年(1989)

- 4. 1 第16代所長に岡田恒男教授(第1部)が就任
- 6. 8 生研公開(～6.9)
- 11.10 Tri-Tech Conference '89開催(豊橋)
- 11.22 生研学術講演会「新しい工学の基礎」開催

平成2年(1990)

- 1. 寄付研究部門「インフォメーション・フュージョン(リコー)」開設

- 6. 7 生研公開(～6.8)
- 6.21 タイ国 シリントーン王女他14名来所
- 7.12 第7回生研国際シンポジウム「第2回磁気軸受国際シンポジウム」開催(大崎,日精ビル)(～7.14)
- 10.23 所長と外国人招聘研究者との懇談会(第1回)を開催
- 11. 8 千葉実験所公開
- 11. 9 Tri-Tech Conference '90開催(本所)
- 12. 5 第3回生研学術講演会「これからの工学研究 本学における工学のCOEの構築」開催
- 12.10 関野 克,岡野舜三両名誉教授の文化功労者の顕彰を祝う会開催(東京ガーデンパレス)

平成3年(1991)

- 3.18 インドネシア,バンドン工科大学生産工学部との学術交流協定締結
- 4.11 国際災害軽減工学研究センター発足
- 5.21 第8回生研国際シンポジウム「吸着分離の科学と工学」開催(～5.22)
- 6. 6 生研公開(～6.7)
- 6. 中央棟屋上に研究実験モデルドームを建設
- 10.25 Tri-Tech Conference '91開催(長岡)
- 10. 寄付研究部門「インテリジェント・メカトロニクス(東芝)」開設
- 11. 寄付研究部門「グローブ・エンジニアリング(トヨタ)」開設

平成4年(1992)

- 1. 9 日本学術会議第五部会員と生研教官との懇談会開催(健保会館)
- 1.21 第4回生研学術講演会「工学の変容(1)-工学と感性-」開催
- 2. 5 生研国際シンポジウム
- 4. 1 第17代所長に原島文雄教授(第3部)が就任
- 4. 6 尾上守夫名誉教授が生産技術研究奨励会理事長に就任
- 5.13 国際災害軽減工学研究センター主催第1回講演会「最近の自然災害から」開催
- 5.13 第1回の生研院生歓迎懇談会を開催
- 6. 4 生研公開(～6.5)
- 7.22 第9回生研国際シンポジウム「室内気流と換気効率に関する国際シンポジウム」開催(東京大学山上会館)(～7.24)
- 7.27 弥生会文化部主催「国際文化交流の夕べ」(第1回)開催
- 7.31 インベリアル・カレッジとの学術交流協定締結
- 10.20 インフォメーション・フュージョン寄付研究部門講演会開催
- 10.30 千葉実験所公開 東京帝国大学第二工学部設立50周年記念行事同時開催
- 11. 6 生研国際シンポジウム「土木繊維を用いて補強した永久擁壁構造物の最近の施工例」開催(～11.7)
- 12. 4 第5回生研学術講演会「工学の変容(2)-多様性と科学技術-」開催
- 12. 7 Tri-Tech Conference '92(豊橋)

平成 5 年 (1993)

- 6.10 生研公開 (～6.11)
- 8.23 生研国際シンポジウム「宇宙からの地球環境モニタリング」開催 (～8.25)
- 9.27 シンガポール国立大学工学部との学術協定締結
- 10. 7 マドリッド工科大学との学術協定締結
- 11. 1 Tri-Tech Conference '93 開催 (本所)
- 11.15 カイロ大学工学部との学術協定締結

平成 6 年 (1994)

- 1.24 第 6 回生研学術講演会「変容する工学と新しい産学協力のあり方」開催
- 2.18 本所と中国科学院によるアジア学術セミナー「経済発展のための新しい環境技術」開催 (北京) (～2.26)
- 6. 概念情報工学研究センター発足
- 6. 2 生研公開 (～6.3)
- 6.30 フランス国立科学研究庁 (CNRS) 工学部門との国際共同研究 (通称 LIMMS) を行うための学術交流協定調印式 (パリ)
- 9. 1 生研フォーラム「インテリジェント・メカトロニクス・フォーラム」開催 (～9.2)
- 10. 4 生研フォーラム「グローブ・エンジニアリングー持続的な地球利用を目指して」開催
- 11.14 与謝野馨文部大臣視察に來所
- 11.25 Tri-Tech Conference '94 開催 (長岡)

平成 7 年 (1995)

- 1. KOBE net 活動開始
- 1.23 第 7 回生研学術講演会「これからの理工学系大学院教育を考える」開催
- 3. 6 第 13 回生研国際シンポジウム「メソスコピック系の物理とエレクトロニクス」開催 (～3.8)
- 3.30 第 8 回学術講演会「阪神淡路大震災一復興と教訓」開催
- 4. 1 第 18 代所長に第 4 部鈴木基之教授就任
- 4.26 千葉実験所研究実験棟竣工披露式典, 祝賀会举行
- 4. 材料界面マイクロ工学研究センター開設
- 6. 1 釜山大学機械技術研究所との学術交流協定締結 (釜山)
- 6. 7 第三者評価国際諮問パネル開催 (～6.9)
- 6. 8 生研公開 (～6.9)
- 7.27 中国蘭州大学材料技術研究所との学術交流協定調印
- 10. 6 千葉実験所公開
- 11.27 Tri-Tech Conference '95 開催 (豊橋)

平成 8 年 (1996)

- 2. 1 英国サウザンプトン大学理工学部との学術交流協定締結 (本所)
- 2.26 生研国際シンポジウム「衛星による地球環境モニタリング」開催 (～2.28)
- 3.27 ワシントン大学 (米国セントルイス市) 工学部と学術交流協定締結 (本所)
- 4. 国際・産学共同研究センター発足
- 4.27 生研の OB 座談会「生研の生い立ち」開催

- 5.15 ハンガリー ヴェスプレム大学工学部と学術交流協定締結 (ハンガリー)
- 6. 5 第三者評価産業界諮問パネル開催 (～6.6)
- 6. 6 生研公開 (～6.7)
- 7. 2 奥田幹生文部大臣來所
- 7.12 第 10 回生研学術講演会「電子メディア社会の文化と工学」開催
- 9.13 ハワイ大学マノア校工学部と学術交流協定締結 (ハワイ)
- 12. 2 Tri-Tech Conference '96 本所にて開催
- 12. 3 第 2 回生産加工技術に関するジョイントワークショップ (本所プロダクションテクノロジー研究会, 釜山大学機械技術研究所) 開催 (～12.4)
- 12.18 第 1 回生研記者会見開催 (第 4 会議室)

平成 9 年 (1997)

- 2.27 産学連携に関する報告講演会開催 (第 1 会議室)
- 2.27 国際・産学共同研究センター設立式典举行 (駒場エミナス)
- 3. 4 国連大学より 13 名の視察団來所
- 3.11 駒場 II キャンパスにて新営建物の起工式と祝賀会開催
- 4. 広報委員会発足
- 5.21 日仏ワークショップ「マイクロマシンでナノの世界とマクロの世界を結ぶ」開催 (恵比寿, 日仏会館) (～5.23)
- 6. 4 第三者評価学術諮問パネル開催 (～6.5)
- 6. 5 中学生のための生研公開
- 6. 5 生研公開 (～6.6)
- 7. 9 国連大学高等研究所との学術交流協定締結
- 8. 8 中国蘭州大学との学術交流協定にもとづく日中シンポジウム「持続可能発展と先端科学技術」開催 (～8.10)
- 10.26 東大創立 120 周年記念展「知の解放」(本郷キャンパス) (～12.14)
- 11. 7 千葉実験所公開

平成 10 年 (1998)

- 1.30 第 11 回生研学術講演会「アジアにおける技術交流」開催
- 3.19 第 2 回産学連携に関する報告講演会 (第 1 会議室)
- 4. 1 第 19 代所長に坂内正夫教授就任
- 6. 4 生研公開, 中学・高校生のための生研公開同時開催 (～6.5)
- 6.26 駒場 II キャンパス第 I 期研究棟内覧式举行
- 8.11 駒場 II キャンパス第 I 期研究棟への移転開始
- 9.24 台湾国立中正大学工学部と部局間交流覚書交換 (台湾)
- 10.14 第 1 回生研イブニング・フォーラム開催
- 11. 4 斎藤成文名誉教授, 文化功勞者に
- 11. 駒場キャンパスへの移転開始 (5 部)

平成 11 年 (1999)

- 1.22 産学連携に関する報告講演会開催 (はあといん乃木坂)
- 3.26 第 12 回生研学術講演会「ITS: 産官学連携の試み」開催